

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県佐用町 交流会館

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m <sup>2</sup> )	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	589	93	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
3,783	無	0.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均



## 2. 資産等の状況

#### ⑧有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

年度	H28	H29	H30	R01	R02
当該値					
平均値					

#### ⑨施設の資産価値(千円)

9,084

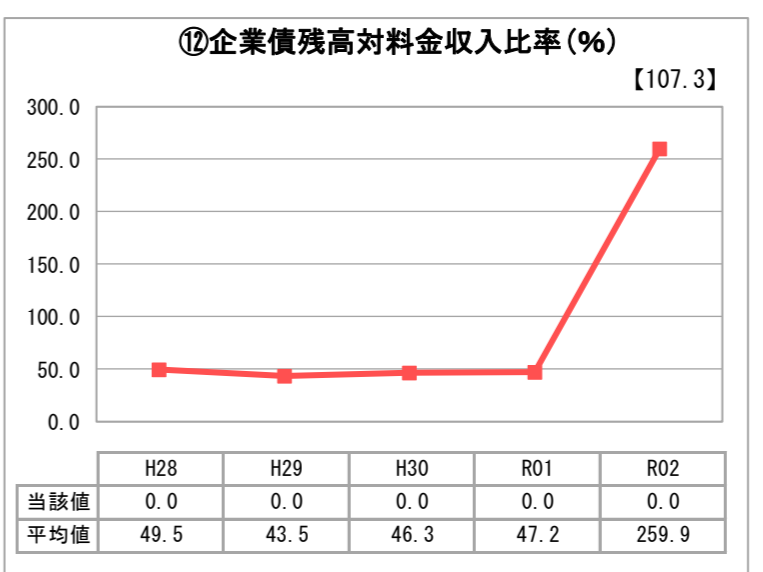
#### ⑩設備投資見込額(千円)

282,667

#### ⑪累積欠損金比率(%)

該当数値なし

年度	H28	H29	H30	R01	R02
当該値					
平均値					



## 分析欄

### 1. 収益等の状況について

本施設では、①③⑦で類似施設平均値を上回り、②④⑤⑥で下回っている。収益力の低さの主たる原因は、利用料金と定員稼働率の低さであるが、本施設が家族用ロッジであるため、週末にしか集客が見込めない面がある。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、稼働率の大幅な減少となった。利用料金についても、食事の提供がない素泊まりのみのため値上げには限界があるが、料金改定の検討に引き続き取り組む。本施設は隣接する笹ヶ丘荘の付帯施設であり、専属するスタッフは常駐していない。予約・受付業務は笹ヶ丘荘で行い清掃等も笹ヶ丘荘のスタッフが兼任する等、経費の削減に取り組んでいる。

### 2. 資産等の状況について

本施設は建築から29年を経過し、修繕費・更新費ともに増加の傾向となっている。修繕方法や更新物品の選定などを慎重に検討し、コスト削減に努力していく。

### 3. 利用の状況について

本施設は、平日の利用が殆どなく、週末にグループ及びスポーツ合宿での利用が主となっている。上記のような利用形態のため、定員稼働率は類似施設と比較しても低い数値であり、令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大幅な減少となった。定員稼働率の向上に向け、効果的な広報等の改善を図りたい。

### 全体総括

本施設は、ゆとりのある空間に4人から6人の家族やグループが宿泊をする自炊可能なログハウスであり、ホテルタイプの宿舎に比べるとどうしても収益性の面でハンディを抱える。施設の長所を生かし、魅力的な見せ方で入込客の増加につなげていきたい。